

PLANNED HAPPENSTANCE

会員 矢野 翠

1 はじめに

早いもので、登録から1年と少しが経過した（執筆時点）。仕事では日々、多種多様な業務に挑戦する機会をいただき、会派でも様々なご縁をいただいている。先輩方の優しさにご縁に感謝する、充実した日々だ。

私は、元々法律とは何の関係もない学部を卒業し、IT企業にて管理部門業務に携わっていた。子供が小学生になったタイミングで、修士号でもとうろくかと思立ち、働きながらでも通える（つまり住宅ローンの支払いを心配しなくてよい）夜間法科大学院と出会い、うっかり入学してしまったのが、法曹の道への第一歩であった。

仕事、子供の中学受験、そして、法科大学院の生活は、二度と戻りたくない過酷な日々だった。前に進むしかない、と、歯を食いしばり、涙を流し、歩みを進めたことを今でも思い出す。苦難を共にしたローの仲間とは、生涯の友人となった。姫野博昭会員（当会・筑波大学ビジネスサイエンス系教授）をはじめ、恩師の方々には足を向けて寝られません。

2 弁護士生活と課題

東京での司法修習は非常に充実していた。教官の皆様（大変にお世話になりました）やクラスメイトに刺激を受け、楽しい日々だった。修習委員会の皆様にお世話になったこともあり、当会に登録をすることにした。

事務所では、企業法務の分野で様々な業務を担当させていただいている。また元々いた会社でも引き続き仕事をさせていただいており、日々慌ただしい。定期的に同期と集まって食事をするのが、何よりの日々の刺激と癒しだ。同期の話の間くと、自分も頑張らなければとやる気が湧いてくる。

落ち着いて勉強をする時間がなく、成長速度に若干の不安を感じるのが、目下の悩みだ。今年は、自習時間を増やすことを目標としている。

3 キャリアについて

さて、せっかく執筆の機会をいただいたので、私が、今後の弁護士としてのキャリアを考える上で、大切だと考えていることを書こうと思う。

“キャリアは偶然・予期せぬ出来事に対し、最善を尽くし対応することを積み重ねることで形成される”という「ブランドハップンスタンス理論」という概念がある。予期せぬ出来事から良い結果を生み出すためには、①好奇心、②持続性、③楽観性、④柔軟性、⑤リスクテキング、の5つの姿勢が大切だと言われている。「セレンディピティ（serendipity）」と似ているかもしれない。

私は、15年以上の社会人生活の中で、様々な偶然や予期せぬ出来事を経て、図らずも法曹の世界でセカンドキャリアをスタートすることになった。つい5、6年前には想像もしていなかった展開である。思えば、ブランドハップンスタンスの実行が、今につながったのだろう。なので、今後も失敗をおそれず、様々な挑戦を繰り返すしかないと思っている。

もし、キャリアやライフプランに悩んでいる同期や77期がいるとすれば、辛いこと、大変なこと、全ての出来事には意味があると思って、失敗をおそれず、前向きな挑戦をしてみしてほしい。

4 その他

なお、ストレートに弁護士になった人と比べると、人生も、キャリアも、残された時間は自ずと少ない。一方で、子育てがひと段落し、生活基盤が安定してから弁護士になったというメリットがある。なので、この際、メリットを生かし、仕事も、それ以外もぎゅっと濃縮をし、最大限楽しむつもりでいる。

手始めに、今年はいつか移住したいと思っていた北海道に家を建て、拠点を作ることにした。夏前には完成する予定。ぜひ、北海道好きの方や、民泊に興味がある方、気軽に声をかけてください。